

I 予算の規模

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減 額	増 減 率
当初予算	62,780,000	63,210,000	△ 430,000	△ 0.7%
12月補正※	1,648,253	—	1,648,253	皆増
3月補正※	724,480	614,591	109,889	17.9%
(参考)一体型予算規模	65,152,733	63,824,591	1,328,142	2.1%

※当初予算と一体的に編成した平成28(27)年度12月・3月補正予算措置分

— 本市の財政事情と平成29年度予算編成 —

市財政の状況は、平成27年度決算において、財政構造の弾力性を判断する経常収支比率が93.1%とピーク時の98.2%(平成21年度)からは改善しているものの、人口の減少傾向や社会福祉関係経費の増加に加え、地方交付税の安定的な確保が難しい状況などを考慮すると、単年度の歳入だけでは歳出が賸えない状況が続くと予測しています。

こうした中、「第四次宇部市総合計画中期実行計画」の最終年度となる平成29年度においては、本計画に掲げた目標の達成に向け着実に仕上げていくことはもとより、3年目を迎える「宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った地方創生を「新たな枠組み」や「多様な担い手」による取組により、加速化させることで、本市の成長に繋げていきます。さらに、小中学校耐震化や施設の長寿命化をはじめとした公共施設等総合管理計画も推進していきます。これらの実施にあたっては、主な一般財源が減少する中、国の補助金の活用や「行財政改革加速化プラン」の積極的な推進などによって財源を確保し、予算を編成しました。

これらの取組により、平成29年度一般会計の予算規模は627億8000万円となります。これは、平成28年度当初予算より、4億3000万円減少していますが、平成28年度の12月及び3月補正予算に平成29年度の取組みを前倒したことによるものです。なお、平成22年度以降、8年連続で600億円以上の予算規模を確保したところです。

また、後年度の負担を軽減するため、市債発行額を元金償還額以下にコントロールするとともに、庁舎建設基金を積み増すなど、持続可能な財政基盤の確立にも留意しました。

本予算の執行を通して、「「ひと」と「しごと」の好循環」や「まちの賑わい」を実感できる「元気都市うべ」を実現してまいります。